

夏が過ぎ、一回り大きく、たくましくなった子どもたち。日中はまだまだ汗ばむ季節ですが、朝晩は、涼しくなり、過ごしやすくなってきました。夏の疲れが出やすい時期です。たっぷり睡眠を取るなどして、体調を崩さないようにしましょう。



9月9日は救急の日

救急とは、急な怪我や体調不良の手当てをすること。お家での事故やケガの対策は万全ですか？

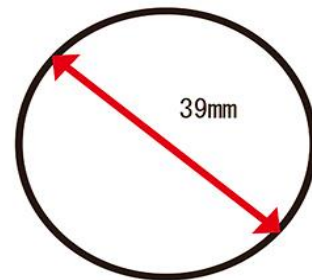
家の中の事故を防ぎましょう

子どもたちは、まだ何が危険かを予測することができず、好奇心旺盛で怖いもの知らずです。

子どもにとって安心して過ごせる家の中が、じつは事故の危険の高い場所だということをご存じですか？

0～6歳の子どもの事故の約40%は、家の中で起こっています。

家の中で起こる事故はさまざまですが、特に命にかかわるのが、**窒息**です。0歳児が圧倒的に多いものの、1、2歳児もゼロではありません。この機会にお家の中を点検し、対策の見直しをしましょう。



小さいものはしっかり管理

3歳の子どもの口の大きさは約4cm。これより小さなものは、子どもの手の届かないところに保管しましょう。ボタン電池、ナッツ類、たばこ、薬など、身近なものでも飲み込むと危険なものはたくさんあります。

リビングなど



ソファやベビーベッドから落ちたり、たばこを飲み込んだりといった事故がよくあります。

キッチン



炊飯器や電気ポットなど、調理器具によるやけどが多い場所。

浴室



残り湯に落ちる、入浴中にちょっと目を離したすきにおぼれるなど、水の事故の危険があります。

ベランダ



台などによって手すりを越える事故が、3歳以降急増します。危険なものがないかチェックしましょう。